

かわうら

河浦まちづくり
協議会 事務局
天草市河浦町河浦
5253
天草市河浦支所まち
づくり推進課まちづ
くり係内
TEL 76-1111



◇まちづくり5策(薬草講座)を実施しました◇

平成30年度までまちづくり5策(福祉のまちづくり)として河浦まちづくり協議会で取り組んでいた「薬草づくり」を河浦地区公民館・各振興会と共催で進めています。

◇まちづくり5策(歴史散策point1)を実施しました◇

平成30年度までまちづくり5策(歴史文化のまちづくり)として河浦まちづくり協議会で取り組んでいた「散策コースづくり」を河浦地区公民館・各振興会と共催で進めています。

(主な意見)

- ・どんな方を対象にするか、コース周知方法、住民の散歩道にするか。
- ・薬草、歴史、昔話などのテーマごとにコース設定しては。
- ・関係人口を増やすためにコースを作る。フットパスはリピーターが多い。知らない土地を歩くことが面白い。
- ・花の季節に合わせてイベント等を実施しては。
- ・小さなコース図が欲しい。
- ・イベントの時は、給水所も設置していいのでは。
- ・これらの意見を参考にコース設定をしていきたいと思えます。

◇まちづくり5策(歴史散策point2)を実施しました◇

11月23日、一町田地区の中心約3キロのコースで「河内浦・下田城探検&クイズウォークラリー」を実施しました。

一町田地区振興会が主催し、河浦地区公民館と河浦まちづくり協議会の共催によって開催されたこのイベントには、7チーム28人が参加しました。

今回は、新合地区を流れる一町田川沿いの土手を散策し、自生する野草に手を触れ、学名や効能、毒性の有無などについて講師から説明を受けました。



後日、新合、宮野河内では薬草料理教室も開催しました。



今回は、3月に試歩したコースに新たな見どころを加え、コース上の見どころで、講師からコメントをいただきました。試歩後は、一町田地区コミュニティセンターで意見交換を行いました。

を出す役員からヒントを与えてもらい、「そうかそうか」とうなづきながら解答を記入し、全チーム自信满满でゴールインしました。ゴール後は用意されていた焼き芋をおいしそうにほお張っていた様子。解答用紙の採点が終わると表彰とお楽しみ抽選会も当然のようにみなさん高得点で、優勝から3位までは「ジャンケン」で決定しました。

河浦地区公民館櫻田公民館長から「今後さらに充実した大会を計画していきたいので楽しみにしていたください。また、参加者のアンケートに「親子で歩いて楽しかった」という感想があり、ほほえましく思った」との閉会の言葉がありました。

小雨が降るあいにくの天気でしたが、最後まで笑顔満載の大会となりました。来年度は今回歩いたコース以外のコース作りや様々な形式での大会開催、更には町外からの参加者にも参加してもらって盛り上げて行きたいと思っています。



↑お寺の住職さんから説明

↓優勝賞品ゲット!



↑スタッフの区長さんから出題

◇多くの方から「ふるさと応援寄附金」をいただきました◇

河浦まちづくり協議会に対して、令和4年2月までに、泉原拓様(山口県)、磯崎丈夫様(東京都)、一橋和子様(長崎県)、岩崎瑞生様(岡山県)、岩本雄次郎様(兵庫県)、大須賀寿子様(東京都)、金澤淳司様(東京都)、川口麻実様(熊本県)、北島宏之様(滋賀県)、黒田恵子様(大阪府)、最所瑞城様(長崎県)、佐藤真央様(岩手県)、菅村美和様(京都府)、高原憲生様(熊本県)、谷頭寛様(熊本県)、谷川由美様(大阪府)、中篠裕美様(神奈川県)、鶴田美紀様(東京都)、鶴本雄一様(熊本県)、野口昌彦様(東京都)、則本翔様(東京都)、濱口正道様(熊本県)、樋口麻里江様(福岡県)、平野悠之介様(大阪府)、廣瀬翔様(京都府)、藤井茂樹様(愛知県)、松岡圭二様(東京都)、松原史子様(熊本県)、松本幸成様(愛知県)、松本成実様(東京都)、三島謙治様(愛知県)、三宅信太郎様(東京都)

宮崎紀彰様(宮崎県)、本村俊博様(熊本県)、森田竜司様(熊本県)、山口江里様(愛知県)、山下晋哉様(静岡県)、山下未穂様(神奈川県)、吉岡孝様(東京都) ほか71名の方から、136万5千円(実質273万円)のふるさと応援寄附金を頂きました。大変ありがとうございました。寄付金は例年、河浦小学校6年生の校外学習、崎津みなどのフェスティバル、河浦地区文化祭等のイベントや浦河町交流事業などに活用されていますが、コロナ禍の影響で殆どの行事が中止となりました。

◇浦河町交流事業は残念ながら中止◇

今年度は、8月に派遣を計画し、訪問団員選考会まで実施しましたがコロナウイルス第5波の影響で無期限延期としていました。どうにかして派遣できないか協議を重ね派遣期間を3泊4日から2泊3日にし、感染リスクを減らしたうえで派遣が決定しましたが1月に入り、第6波の感染が広がったため、やむを得ず中止することになりました。

◇自主防災組織支援事業補助金制度を創設しました◇

河浦まちづくり協議会では、河浦地域での自主防災組織の設立や住民同士が協力して地域の防災意識を高めることを目的に、新たな組織の設立を促し、活動の活性化を図ると認められる事業を実施する組織に対し、ふるさと応援寄附金を活用して補助制度を創設しました。

今年度は、大川内・上津留・下津留・船津の各自自主防災組織の拠点となる自治公民館の環境改善のために冷暖房の設置、玄関の段差解消、トイレの改修などが行われ、補助金を支出しました。



↑大川内区自治公民館の整備状況

◇河浦中学校崎津集落ボランティアガイドがんばっています◇

河浦中学校では、今年度、1年生8名、2年生6名、3年生8名の合計22名で活動をしています。月一回のガイドでは、天草ぐるっと周遊バスに乗車されたお客様を「きんつ市場（漁協で運営）」で出迎え、世界文化遺産長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の構成資産の一つである「天草の崎津集落」内を案内しました。

生徒達は、それぞれ受け持ちの崎津諏訪神社、旧教会跡、崎津教会、みなと屋など8カ所を順番に案内して行きます。お客様に、より説明内容を理解してもらうために、お手製のボードに絵と文字を書き、先輩から後輩へ工夫が伝授されています。1年生は、8月の夏休み中に天草宝島案内人の会や天草市文化課の学芸員から熱心に講座を受講しデビューしました。

この活動が目ざされ八代市立東陽中の先生とPTA役員の方が視察に来られました。また、長崎県

南島原市立南有馬中学校とは、同じ世界遺産の構成資産の縁もあり、オンラインで自校の取り組みをお互いに紹介して交流を深めることができました。今後の更なる活躍が期待されます。

↓オンライン交流の様子



↑周遊バスのお客さまへのガイド「きんつとは・・・！」

◇2年振りに成人式が開催されました◇

令和4年成人式が1月3日（月）に一町田地区コミュニティセンターで、成人者29名のうち28名が参加して開催されました。市長からの式辞の後、来賓から祝辞をいただき、その後、成人者を代表して城下練人さん（路木区）から意見発表がありました。今回は、初めての試みとして記念動画を作成しました。小中学校時代の恩師からのメッセージ動画もあり、心暖まる内容になりました。また、久しぶりの友達との再会に、話に花が咲いたことだと思います。



↑話に花が咲いたかな？

◇ガイドードリンク日本の祭りに
選出されました◇

飲料会社であるガイドーグル
ープでは19年前から、全国各地
で代々受け継がれて来た祭りを
通じて、地域の絆づくりと文化の
継承を目的に、毎年、全国から
「日本の祭り」を選出し、各地方
局（熊本県はRKK）と連携して
映像を作成してテレビ放映をし
ています。

今回、上平区の「産島八幡宮例
大祭」が選出されましたが、コロ
ナ禍の影響で今年も神事のみ執
り行われました。10月24日
（日）には、RKKの取材スタッフ
が訪れ、来年度の番組制作に備え
て神事の様子を撮影されていま
した。来年度こそ、上平区及び宮
野河内地区の宝である、この祭り
の番組が制作・放送されるよう
期待したいと思います。

↓祭りポスター



↑例年の祭りの様子

◇ふるさと応援寄附金の活用方
法を募集します◇

ふるさと応援寄附金とは、ふる
さと河浦への想いや河浦に興味を
持っていたいただいた全国の方からい
ただく応援金です。天草市では
市の取り組みや各まちづくり協
議会、振興会へ寄附者が使い道を
選んで寄附することができま
す。これまで河浦まちづくり協
議会は、行事で使う折りたたみテ
ントの購入や河浦地区文化祭等
のイベントに活用してきました。
今回、河浦町民の皆様から、寄
附金の活用方法を募集します。
なお、応募した全てのアイデアが
採用されるものではありません。

◇脳トレの道具を貸し出しま
す！◇

河浦まちづくり協議会では、ふ
るさと応援寄附金を活用して高
齢者から若い方まで使用できる
脳トレパズルを購入しました。
河浦町でも高齢者の割合が
年々増加し、社会福祉協議会河
浦支所や河浦地区公民館でも健
康寿命を延ばすために様々な講
座を開催しています。

公民館講座や地区振興会など
の各種行事、老人会の活動で使
用していただきたいと考えていま
す。

【ふるさと応援・脳トレ道具の
問い合わせ先】

河浦まちづくり協議会（天草市
役所河浦支所内）七六一一一

【他の町での活用例】

- ・避難経路の看板設置
- ・グラウンド管理備品購入
- ・ウォーキングコース整備
- ・防災グッズの購入
- ・オリジナルグッズの作成
- ・特産品開発費

←脳トレパズル



【編集後記】

昨年10月以降、コロナの感染
者が激減し、さあこのまま終息す
るか淡い期待を持っていました
が、専門家の予想どおり第6波が
来てしまいました。こんな中で
も、十分な感染対策をして、寒さ
を吹き飛ばしながらグラウンド
ゴルフをされる皆さんを見てい
ると、自分も負けておられんとい
う気持ちになります。2年ぶりの
成人式も開催され、若者から元
気をもらうことができました。
これからも広報かわうらで地
域の様々な取り組みや出来事
をお知らせしていきます。（中村）